

令和5年度 第2回日高市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月27日(火) 午前10時～11時15分
- 2 開催場所 日高市役所3階 301会議室
- 3 公開・非公開 公開
- 4 非公開理由 なし
- 5 出席者 谷ヶ崎照雄会長、中村一夫委員、松本健一委員、原政幸委員、島津芳久委員、森孝博委員、伊藤輝雄委員、西澤幸美委員、高柳美穂委員、松川実委員、小泉光枝委員、山口永子委員、上谷美貴委員、(13名)
- 6 説明員 学校教育課指導主事猿渡啓介
- 7 欠席者 細野彰委員、森怜也委員、小倉敦委員、小林雪子委員、山中由美子委員、山畑淳子委員、太田麻奈美委員(7名)
- 8 事務局 教育部長滝沢淳、教育部参事長嶋伸一、学校教育課長利根川典正、生涯学習課長中條智則、学校教育課指導主事猿渡啓介、学校教育課指導主事川中智晴、生涯学習課生涯学習担当主幹平井世一、生涯学習課生涯学習担当主任大野康行
- 9 傍聴者 0人
- 10 協議事項 (1) 日高市いじめ防止等に関わる取組について
(2) 令和5年度各団体活動状況及び青少年健全育成対策について
- 11 会議資料
 - ・次第
 - ・いじめ防止等に関わる取組について
 - 令和元年度～令和5年度いじめ認知件数 資料1-1
 - 令和5年度学校別いじめ認知件数 資料1-2
 - 学校区・学年別「いじめの認知率」 資料2-1、2-2
 - 学校別「いじめの態様」 資料3-1、3-2
 - 学校別「いじめの発見のきっかけ」 資料4-1、4-2
 - ・各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書 資料5
- 12 会議の経過
 - (1) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて資料に基づき事務局より説明した。
 - ・事務局 資料1-2による認知件数は前年度より増加している。これは、各学校において積極的に認知している結果である。
 - ・委員 認知は大事な事である。いじめの学校での対応、とりわけ担任やそれを

サポートする教職員はどのように行っているのか。

- ・委員(学校) 人間関係が主であるので内容によってその対応は異なってくる。担任と教務主任だけで協議対応という場合もあるし、本人への聞き取りは担任とか役割分担により対応している。
- ・委員(学校) 学年主任、担任、副担任、又は部活の顧問がかかわってくる場合もある。手分けして本人、周囲の人達に聞き取りを行い、まずは事実関係を確認し、保護者へ返してから対応という事案もある。
- ・会長 とりわけ担任は何かと忙しい場合がある。校長、教頭はどのように対応しているのか。
- ・委員(学校) 月に、あるいは事あるごとに学年主任等と正確な情報共有を行っている。初期段階の早めの対応、共有することが大切である。
- ・委員 高根小学校では認知件数が少ないが、なにか要因はあるのか。
- ・事務局 児童・生徒数が少ないため、密にコミュニケーションをとることができるのが一つの要因と考えている。

(2) 令和5年度各団体の活動実施状況及び青少年健全育成対策について
各団体より活動内容等報告書に基づき説明

- ・委員 学校ではコロナ禍において、活動やイベントの縮小や中止となっていたが、コロナ明けというか現在ではどの様な活動等になっているのか教えていただきたい。
- ・委員(学校) 日高高校では体育祭、文化祭は以前の様に行い、大変盛り上がり、活発になっている。また、話はちがうがバイクの運転は、学校へ登録すれば乗れるようにしている。
- ・委員(学校) 中学校では青少年健全育成の会や地域と方たちとの交流がコロナ禍において人間関係が広げられなかった取組を、ボランティアなどを通じて学ぶという事を行っている。
- ・委員(学校) 小学校では大きな声で歌を歌うという事ができなかった。
- ・委員 スマートフォンの普及に伴い、簡単にインターネットの利用が可能になった。我々はあまりなじみのないSNS等への対応はどのようにしたらいいのか教えていただけないか。
- ・委員 高校では携帯会社から使い方など無料相談しているのを活用している。
- ・会長 学校だけではなく、地域や各家庭、保護者による管理啓発も必要になってくる。
- ・委員 他の組織との情報共有という点では、どのように行っているのか。
- ・事務局 学校を超える部分の事案があれば、その担当部署と連携し、情報は共有している。
- ・委員 スマートフォンのトラブルはこれから増えてくると考えられる。学校でもフォローしていただけるのか教えていただきたい。
- ・事務局 プライバシーはあるが、学校、行政に相談していただければと思う。早い段階での早期の対応、そして、一緒に考えることが大切ではないか。